

# 指導案・提案資料

## ① 指導案

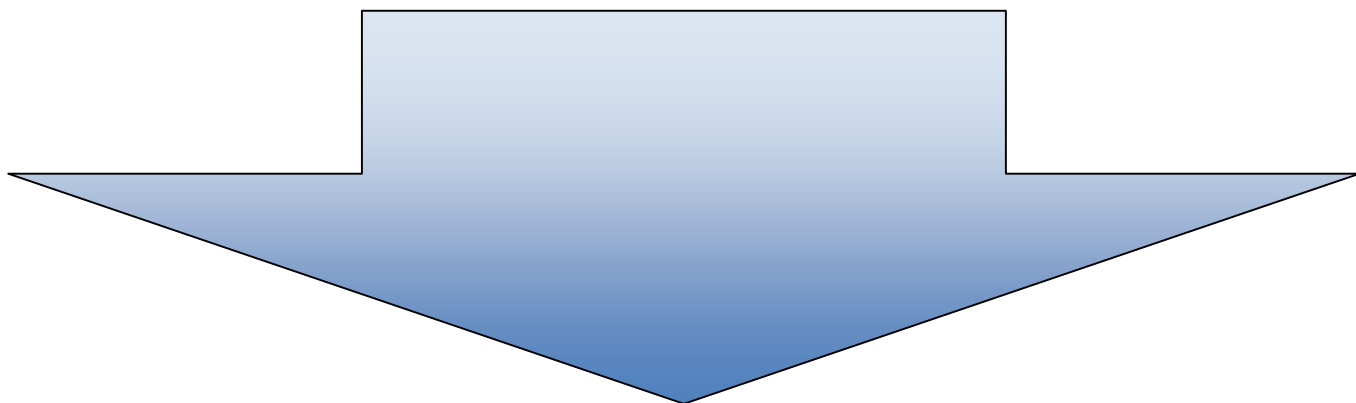
## ② 提案資料

※ 第100回教育研究発表会の紀要に掲載している指導案と、本実践に関わる提案資料です。

※ 提案資料は、指導案の補助的なものとして研究会当日に配布したものです。本提案資料は「教材の宝箱」版として、一部修正を加えています。

※ 本実践に関するご意見・ご質問につきましては、本校研究部までお願いします。

メールアドレス→[sakashokenkyu@ed.kagawa-u.ac.jp](mailto:sakashokenkyu@ed.kagawa-u.ac.jp)



## 第2学年西組 生活科学習指導案

学習指導者 山路 晃代 (T1) 濟城 智哉 (T2)

### 1 単元 「附坂小の秘密を紹介しよう」

### 2 単元について

#### (1) 育成したい「思考力」と学びに熱中する子どもの姿

##### 【育成したい「思考力」】

幼稚園の友達に小学校の秘密を紹介する準備をしていく中で、これまでの交流経験を生かし、幼稚園の友達への関わり方を工夫する力

幼稚園の友達が小学校生活を楽しみに思う紹介をすることに興味をもち、より相手を意識した紹介のしかたについて学級の友達と話し合いながら、幼稚園の友達が早く入学したいと思えるような紹介の準備を続けている。

##### 【学びに熱中する子どもの姿】

本単元で子どもたちは、交流を続けてきた来年度入学する幼稚園の友達に、幼稚園と小学校の違いを中心に小学校の秘密を紹介する活動を行う。その際、栽培した野菜やうさぎの世話等を幼稚園の友達や1年生に紹介したことを想起しながら、幼稚園の友達にどんなことを、どのように紹介するかを考えていく。その過程で、例えば「育てた野菜を紹介した時のように、図工室の紹介に写真を使おう。絵を描くのが好きな〇〇さんは、きっと小学校が楽しみになると思うよ」等と、相手のことを想像した紹介のしかたができるようになるだろう。また、「紹介を聞くだけではなくて、〇〇さんと一緒に絵を描いたり、工作したりできるようにすれば、もっと楽しさを分かってもらえるね」「他に知りたい小学校の秘密はないか、〇〇さんに聞いてみよう」等と、自分自身の小学校での学びを生かした活動を取り入れて小学校生活の楽しさを伝えられるようになることを考える。その際に働くのが上記「思考力」である。

子どもたちは、幼稚園の友達が小学校へ体験入学する日に、小学校の秘密を紹介する活動を行う。その際、自分の経験や今年度入学してきた1年生の思いを聞いたことを振り返って、幼稚園の友達のことを想像し、小学校生活を楽しみに思っしてほしいと思うだろう。そして、より相手を意識した紹介になるよう準備を進める中で、「図工の時間の様子を紙芝居で紹介するよ」「いいね。工作は、実際にする方が楽しさを伝えられそうだから、一緒にしてみよう」等と、紹介内容が同じグループで紹介のしかたについて話し合う。そして、それを基に「図工の時間にした工作を一緒にしてもいいね」「できた作品は、袋に入れてプレゼントしよう」等と、どんな工夫をするかを決めていく。グループで話し合うことからよりよい考えが生まれ、相手を意識した紹介に工夫できていることを実感した子どもたちは、幼稚園の友達にとってより分かりやすく魅力ある紹介となるよう、本番に向けて紹介の準備を続けていくのである。

#### (2) 自信度を高め、新たな問題を共有する場を位置づけた単元構成について

事前の質問紙調査の結果より、本学級には幼稚園の友達に小学校の紹介をすることへの関心が高い子どもが多いことが分かった。一方、紹介することは得意ではないという否定的な回答をした子どもが35名中17名いた。理由を問うと「できたかどうか分からないときがある」「間違っているかもしれない」等であった。これらのことから、紹介する際、相手にうまく伝わっているかどうか不安を感じることが想定された。

そこで、紹介する相手を変えることにより、紹介する活動を複数回行える単元を構成した。相手に分かりやすい紹介ができたという成功体験を積み重ねられるようにすることで、自信度を高めていきたい。紹介する相手は、どの程度伝わったかの反応が見取りやすい順に、学級の友達、1年生、幼稚園の友達とする。紹介の準備ができた子どもたちは、まず、学級の友達に紹介し、学級の友達から感想をもらう。そして、それを基に紹介のしかたを修正し、1年生に紹介する活動を行う。紹介への自信度が高まってくると「小学校の他の秘密も紹介したい」「1年生に紹介して気付いたことを基に、もっと工夫したい」

等といった新たな問題が表出されると考える。このような問題を学級で共有し、解決の場を設定することで、これまでの経験や学びを生かし、よりよい紹介のしかたを考えたり、幼稚園の友達が楽しめる活動を取り入れたりする等、主体的に関わり方を工夫していく子どもが育つと考える。

(3) 単元計画と学習意欲への働きかけ (総時数 12時間)

次	主な子どもの意識と学習の流れ	学習意欲への働きかけ
第一 次	<p style="text-align: center;"><b>① 青組さんを附坂小わくわくタイムに招待する準備をしよう</b></p> <p>体験入学での幼稚園の友達との交流を「附坂小わくわくタイム」と共通理解した後、幼稚園と小学校の違いを出し合い、表に類別して整理する。そして、幼稚園の友達に、どう紹介すれば入学を楽しみに思ってくれるかを考えていく。その際、自分の経験や今年度入学してきた1年生に尋ねた結果を手がかりとすることで、相手を意識した紹介に工夫することへの意欲を高める。</p> <p style="text-align: center;"><b>② 青組さんに附坂小わくわくタイムで伝える秘密を決めよう</b></p> <p>表に整理したことを基に、紹介する秘密の一つを選び、選択した秘密が同じ者どうしでグループをつくる。その際、選んだ理由を交流することで、相手のことを想像して紹介する秘密を選ぶことが大切だと気付くだろう。</p>	<p>①～⑩ <b>関・自</b></p> <p><b>【附坂小の秘密一覧表】</b></p> <p>幼稚園との違いを行事・自然・勉強等の観点で整理した表を掲示しておく。それにより、紹介する内容を選ぶ際に確認したり新たに見つけた秘密を加えたりできるようにしておき、紹介する観点や内容に気付けるようにする。</p>
第二 次	<p style="text-align: center;"><b>③④ 青組さんに小学校体験入学のお知らせをする準備をしよう</b></p> <p>グループごとに選んだ秘密を紹介する準備を行う。そして、グループで練習し、紹介する準備ができたことを確認した後、学級の友達に紹介して、感想を伝え合う。その感想を基に、グループで紹介のしかたを修正し、再度、学級の友達に紹介して、より相手を意識した紹介になったことを確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>⑤ 幼稚園に行き、小学校体験入学のことを知らせよう</b></p> <p>幼稚園に行き、小学校体験入学のお知らせをし、グループで選んだ小学校の秘密を紹介することも伝える。幼稚園の友達が期待している様子を見ることで、より分かりやすい紹介に工夫しようという思いが高まるだろう。</p> <p style="text-align: center;"><b>⑥⑦ 小学校の秘密の伝え方を工夫しよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>紹介する内容が伝えられるようになった子どもたちは、他の秘密も紹介したいと考えるだろう。他の秘密を加えて準備と練習を行い、学級の友達に紹介する。紹介のしかたを修正した後の7時間目には、1年生に本番と同じように伝える。そして、紹介する活動への自信を高めた子どもたちは「小学校のもっと他の秘密も紹介したい」「1年生に紹介して気付いたことを基に、もっと工夫したい」といった新たな問題を表出する。</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>⑧～⑩ 小学校の秘密の伝え方をもっと工夫しよう</b></p> <p style="text-align: right;">本時 (8/12)</p> <p>さらに紹介する秘密を加えたり、幼稚園の友達と一緒に活動できるコーナーを作ったりして、紹介の準備と練習を行う。学級の友達に、紹介のしかたについてのアドバイスをもらい、準備を完成させる。</p>	<p>③⑥⑧ <b>自</b> <b>【キラキラ紹介シート】</b></p> <p>分かりやすい紹介方法に気付きにくい子どもに、紹介の際に気をつけることを整理したシートを用意しておく。紹介のしかたを選択したり、練習したりする際、必要に応じて確認できるようにする。</p> <p>③～⑩ <b>自</b> <b>【わくわくボード】</b></p> <p>話し合う際、伝える秘密や伝え方の工夫等をグループでボードに記述させる。互いの考えた工夫が分かることで、自分の紹介に取り入れたり、より分かりやすい紹介の工夫を考えたりできるようにして、紹介への不安を軽減する。</p> <p style="text-align: center;">----- <b>振り返り</b> -----</p>
第三 次	<p style="text-align: center;"><b>⑪ 青組さんを附坂小わくわくタイムに招待しよう</b></p> <p>小学校への体験入学時に、附坂小の秘密を幼稚園の友達に伝えながら、体験コーナーで一緒に活動したり、校内を案内したりする。</p> <p style="text-align: center;"><b>⑫ 附坂小わくわくタイムを振り返ろう</b></p> <p>これまでの取り組みを振り返り、今後の友達への関わり方について考える。</p>	<p>②～⑫ <b>【短冊フォルダー】</b></p> <p>短冊フォルダーに入れた短冊シートに分かったことやできたこと、次の活動に向けた願いを書かせる。その際、グループ内で頑張っていた友達を見つけ、その数でカードの星を塗る割合を変える。その後、どんな頑張りがあったか伝え合うことで、協働のよさを感じられるようにする。</p>

### 3 本時の学習指導

#### (1) 目標

1年生に小学校の秘密を紹介する活動を通して気付いたことを基に、幼稚園の友達のことを想像しながら、附坂小わくわくタイムでの関わり方を工夫することができる。

#### (2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識		
<p>1 これまでの活動を振り返って、本時の学習課題を確認する。</p> <p>関・自【附坂小の秘密一覧表】</p>	<p>1年生への紹介より、もっと分かりやすい紹介にしたいな。</p>	<p>できるだけ多くの友達に、小学校の秘密を伝えたいな。</p>	<p>「自分たちも〇〇してみたかった」と、1年生が言っていたよ。</p> <p>□□さんのグループは、1年生がたくさん集まっていたね。</p> <p>あグループみたいに、遊べるものを使って紹介しよう。</p>
<p>小学校の秘密の伝え方をもっと工夫しよう</p>			
<p>2 工夫する内容を確認し、自分たちの関わり方を考え、準備をする。</p> <p>自【キラキラ紹介シート】</p> <p>自【わくわくボード】</p>	<p>体験コーナー作り、紹介のしかた、グループの宣伝を工夫すると、もっと多くの友達により分かりやすい紹介ができそうだな。</p>		<p>音楽の授業の体験ができるコーナーを作ろう。</p> <p>劇での伝え方をもっと工夫しよう。</p> <p>多く友達に看板を作って知らせよう。</p> <p>音楽室にあるトライアングルや鈴を、リズムに合わせて鳴らすようにすると楽しいね。</p> <p>絵を描いたり工作したりすることだけでなく、している時の気持ちも伝えよう。</p> <p>生活科の時間に作ったおもちゃのことが分かる看板を作るといいね。</p> <p>たくさん友達が来たら、順番に楽器を弾いてもらおう。</p> <p>使った絵や工作は、プレゼントにして持ち帰ってもらおう。</p> <p>来た友達みんなにおもちゃで遊んでもらおう。</p> <p>することが決まったから、グループで練習しよう。</p> <p>別のグループの人に工夫したことをチェックしてもらおう。</p>
<p>3 考えた工夫を取り入れた紹介を行い、紹介のしかたについて話し合う。</p> <p>自【キラキラ紹介シート】</p> <p>自【わくわくボード】</p>	<p>「いろいろな楽器の演奏のしかたを教えてください」と言ってくれたよ。</p>	<p>「絵と工作から、欲しい方を選べるのがいいね」と言ってくれたよ。</p>	<p>「看板でどんな秘密の紹介かが、分かるのがいいね」と言ってくれたよ。</p> <p>「もっとリズムがゆつくりだといいよ」とアドバイスをくれたよ。</p> <p>「もっと数を増やすのはどうかな」と教えてくれたよ。</p> <p>「もっと看板が大きいといいよ」と教えてくれたよ。</p> <p>友達が言ってくれたところを、さらに工夫しよう。</p> <p>青組さんのことを考えて、分かりやすく伝えることが大切だね。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>振【短冊フォルダー】</p>	<p>△△さんが手伝ってくれたから、小学校が楽しみになるように工夫ができたよ。他の秘密でも、体験コーナー等を工夫したいな。</p>		

提 案 授 業 1 指 導 案

### (3) 授業の詳細

#### 前時までの子どもの意識 学習活動1

前時までに、子どもたちは、「青組さんが、入学を不安に思う気持ちが減り、楽しみに思えるように小学校の秘密を伝えたい」という思いをもって、グループで紹介のしかたを工夫したり、紹介する内容を加えたりしてきている。本時において、学級担任（T1）は、主に全体指導を行い、生活科専科教員（T2）は、幼稚園の友達の立場から助言したり、個別指導をしたりする。それにより、幼稚園の友達ができる・できないこと等を伝える

ふさかしょうのみみつ		
ぎょうじ 写真	ぼしよ 写真	ぺんきょう 写真
・1年生をむかえる会 ・ふししょうフェスタ		
ともだち・せんせい 写真	しぜん 写真	せいかつ 写真

【附坂小の秘密一覧表】

ことで、紹介の内容を楽しみに思ってくれるかどうかの見通しをもつことができるだろう。本時の導入では、まず、前時に1年生に小学校の秘密を紹介したことから、「もっと分かりやすい紹介になるように工夫したい」といった思いを確認した後、工夫する内容として気付きにくい「体験させてあげるといい」「宣伝をするとよい」という工夫を子どもたちの意識とつないで取り上げる。その際、野菜パーティー等の写真を提示し、一緒に活動できる体験コーナーを作ることや友達に宣伝することのよさに気付かせる。その後、紹介する内容を整理した表を指し、どれを選んでも体験コーナーが作れそうなことを確認する。関・自【附坂小の秘密一覧表】そして、「秘密の伝え方をもっと工夫できそうですか」と問いかけ、学習課題を設定する。

#### 学習活動2

先に確認したことを工夫していくと、より分かりやすい紹介になることを確認する。そして、子どもたちが工夫しようとする内容について教師は、どれも認め、進んで活動に取り組めるようにする。その際、体験コーナーで紹介する時や友達に宣伝する時に気をつけることを整理した拡大シートを提示するとともに、個人用シート（縮

つたえるひみつ	たん当	よいいずもの	つたえ方のくふう

【わくわくボード】

小版)を設置していることを伝え、必要に応じて、取りに来られるようにしておく。自【キラキラ紹介シート】そして、当日の紹介活動の流れを時間とともに示し、紹介や体験コーナー等の活動時間の見通しをもたせる。その後、グループでボードを使って、どんな紹介にするかを話し合わせる。自【わくわくボード】そして、「音楽の体験ができるコーナーを作ろう」等と、ボードに記入した工夫が実際にできるかどうかを話し合いながら、グループで練習する中で、「音楽室にある楽器を使って、リズムに合わせて一緒に演奏すると楽しいね」と、より相手を意識した紹介に工夫していく。

#### 学習活動3

紹介を伝え合うグループを前半と後半に分け、聞き手は幼稚園の友達役として、1回目は指定されたグループに行き、2回目は自分が聞きたいグループに行ってよいことを伝えておく。紹介後には、紹介の際に気をつけることを確認しながら自【キラキラ紹介シート】、よかったところと、アドバイスを伝え合わせる。その後、グループでボードに記入した伝え方の工夫等について見直す時間を確保することで自【わくわくボード】、「初めて作る工作で、うまく作れないかもしれないね。一緒に作るようにするといいね」等と、さらに相手を意識した紹介に工夫していくと考える。

#### 学習活動4

振り返りの場面では、短冊状のシートに本時、分かったことやできたこと、次の活動に向けた願い等を記入する時間を確保する。その後、グループ内で頑張っていた友達を見つけて、その数をカードの星に色を塗る割合で表現させ、その理由を聞き合う時間を設定する。振【短冊フォルダー】それにより、協働のよさに気付かせる。その後、シートに表出した願いを全体で交流し、次時につなぐ。

### (4) 総括的評価

1年生に小学校の秘密を紹介する活動を通して気付いたことを基に、よりよい紹介のしかたについて話し合いながら、体験コーナー等を加えて、さらに工夫している。【方法：発言、ワークシート】

生活 科 提 案 授 業 I

第 2 学 年 「附 坂 小 の 秘 密 を 紹 介 し よ う」



香川 大 学 教 育 学 部 附 属 坂 出 小 学 校  
生 活 科 ・ 理 科 濟 城 智 哉  
2 年 西 組 担 任 山 路 晃 代

## はじめに

本日は,ご多用の中,ご参会くださりありがとうございます。本校では,生活科を中心として幼小連携を進めています。以下の通り,提案いたしますので,忌憚のないご意見をお願いいたします。

### 【目次】

#### 1 本実践で留意したこと

Q1. 学習指導要領では,どのような位置付けなのか	1
Q2. なぜ,2年生が年長児との交流をメインとする単元構成にしたのか	2
Q3. 年長児との交流をどのように行っているのか	3
・幼小連携計画	4
・幼小連携年間計画	5
・第2学年 教科をつなぐ年間カリキュラム	6
Q4.年間を通じて年長児との交流を行うメリットは?	7

#### 2 本時に至る学びの足跡

##### ・第1時～第7時までの学習の流れ

- ・ “ 学習意欲への働きかけ
- ・ “ 板書記録,活動記録

#### 3 本時の板書計画

16

## 1 本実践で留意したこと

### Question 1

#### 学習指導要領では、どのような位置付けなのか？

本単元「附坂小の秘密を紹介しよう」で子どもたちは、来年度、連絡進学により入学してくる幼稚園の友達（以下、青組さん）に、幼稚園と小学校の違いを附坂小の秘密として、紹介する活動を行います。子どもたち一人一人とペアになる青組さんを年度始めに決め、さまざまな活動を通して触れ合う中で、だんだんと親しい存在になってきています。実際、活動の中で自然とペアの青組さんに小学校に入学することへの期待や不安について聞いている子どももいます。

小学校学習指導要領解説生活編には、生活科の内容（８）の指導に当たって以下のように示されています。

#### 現行学習指導案

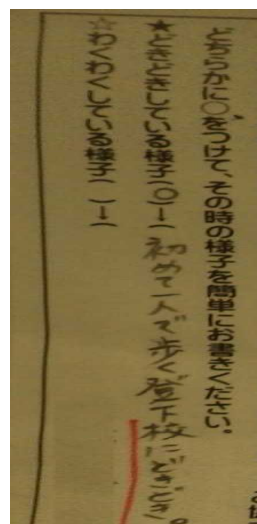
（８）自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわる楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。

#### 新学習指導案

（８）自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わる楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

新学指導要領で変更される下線部の相手のことを想像するとは、相手の表情を思い浮かべたり、その人らしさについて考えたり、自分の経験から相手を推測したりすることです。伝えたいことを選ぶときには、何を何のために伝えるのかという目的意識と相手が必要としている情報なのか、うまく伝わっているかという相手意識が重要になります。伝え方を選ぶとは、相手や目的に合わせて、伝える方法を選ぶことです。

本単元で子どもたちが相手のことを想像する際、ペアの青組さんの写真を見たり、自分が小学校へ入学する前の期待や不安をを想起したりするのが有効でした。想像しにくい子どもについては、友達の経験が自分にも当てはまるか選ぶようにしたり、保護者にその時の様子を連絡帳等に記入してもらったことから想起させたりするようにしました。



【保護者の協力】

### Answer 1

内容（８）「生活や出来事の交流」の位置付けです。



## Question 2

### なぜ、2年生が年長児との交流をメインとする単元構成にしたのか？

年長児は入学前には、小学校生活にスムーズに移行できるよう、保育所・幼稚園等と小学校をつなぐための「接続カリキュラム」を実施しています。特にこの時期（1月頃～3月）を「アプローチカリキュラム」とし、小学校生活を意識して、お絵かきや絵本の読み聞かせ・食事等、一定の時間を着席して活動させたり、小学校の見学や上級生との



の交流活動を行いながら、小学校の雰囲気を肌で感じたりする等の活動が考えられています。

保育所・こども園・幼稚園と小学校では、教育課程、1日の生活の流れ、教材・教具、環境構成等、様々な面で違いがあり、年長児は小学校生活への期待だけでなく、不安も感じています。

2年生は、小学校生活を1年間過ごした経験から、年間の小学校生活の流れやルール、楽しさ等を理解したり、体感したりしてきています。

もう少しで2年生になる1年生と交流することも考えられるかもしれませんが、2年生は、1年生やその他の学年、年長児との交流経験もあります。

それらの学びを入学前の年長児のために活かしていくことは、2年生にとって「今まで準備してきたことが、人のために役に立ってよかった」等と達成感や成就感を味わわせ、「自分にも、こんなことができるんだ」「また、人のために何かしてみたい」等のさらなる交流の動機付けになると考え、本実践のような単元構成にしました。



## Answer 2

2年生の交流経験を生かし、達成感や成就感を味わわせ、さらなる交流の動機付けをするためです。

### Question 3

年長児との交流を，どのように行っているのか？

本実践では，年長児と年間を通じた交流を行いました。もちろん，小学校と幼稚園は，それぞれの年間計画に沿った教育活動を行っています。そこで，年度初めに，幼少連携計画の素案（別紙①参照）を基に，担当教員が幼稚園の先生と相談し，共通理解する機会を設けました。そして，幼小で共通理解した計画を基に，具体となる年間計画（別紙②参照）を作成していきました。

例えば4月中旬には，ペアとなる青組さんの園児を決め，自己紹介したり，国語科の音読教材「かくれんぼ」を聞いてもらったりする活動を幼稚園に行っていました。

この計画の作成に当たり，生活科の学習と他教科との関連が図れる内容があるかを検討しました（別紙③参照）。現行小学校学習指導要領解説生活編において，「教科の目標や内容の一部について，これを合科的に扱うことによって指導の効果を高めること」とあります。

ただ，児童の時間的・空間的・心理的な負担が大きくなることがないように，できるだけ学習内容や活動の関連と展開を具体的に確認していくことに努めました。その際，幼稚園の様子を知らないと確認しにくい部分もでてきます。

日頃より，小学校の担当教員が幼稚園の担当教員と，連絡を密にして，お互いの情報を共有しながら計画を行っていくおくことも大切です。



【年長児（青組さん）との年間を通じた交流を掲示】

### Answer 3

幼小で相談して作成した年間計画に沿って，計画的に交流を行っています。

## 幼小連携計画（案）

H29. 4. 3

### 1 ねらい

低学年の学校生活における集団生活の発達の特質を踏まえながら、幼児、児童が人間関係や社会性を育み集団活動や体験的な活動を通して、児童が仲よく助け合い学校生活が送れるようにする。

### 2 年間計画

	1学期	2学期	3学期
単元	「野菜を一緒に育てよう」	「見つけた秋を紹介しよう」	「小学生になったら」
小学校	・音読発表会（国語） ・幼稚園の友達にインタビューしたり、一緒に野菜の苗を植えたりすることで、お兄さん、お姉さんとして自分より年下の友達を労る心を育むようにする。	・小学校の中で見つけた秋を幼稚園の友達に紹介したいという意識を高め、活動する。	・小学校で学んだことを実際に友達に見せることで、できるようになったことが増えたことに気づき、成長を感じることができるようになる。
幼稚園	・ことばによる伝え合い・お兄さん、お姉さんの姿を通して、小学校生活を感じ取れるようにする。	・園外保育で見つけた秋を小学生のお兄さん、お姉さんに紹介できるようにする。 ・小学生に自分が育てた大根を紹介できるようにする。	・スムーズな小学校生活を送れるように、小学校での生活を体験し、小学生になる喜びを感じることができるようになる。
活動計画	4月中旬 小 ・一緒に育てる野菜をインタビューして決めよう 4月下旬 小・ <sup>幼</sup> ・畑を一緒に耕そう 5月上旬 小・ <sup>幼</sup> ・野菜を植えよう 5月中旬～7月 小・ <sup>幼</sup> ・水をあげたり草抜きをしたりして、お世話をしよう 7月中旬 小・ <sup>幼</sup> ・野菜の収穫パーティーをしよう	9月下旬 <sup>幼</sup> ・おでんパーティーで食べる大根を植えよう 10月中旬 小・ <sup>幼</sup> ・見つけた秋を紹介しよう 10月下旬 小 ・冬野菜を育てよう 12月中旬 小・ <sup>幼</sup> ・それぞれの野菜を紹介しよう	2月8日 小・ <sup>幼</sup> ・給食の時間を見よう 2月9日～12日 小・ <sup>幼</sup> ・小学校体験をしよう
関連活動	6月上旬 ・一緒にプール遊びをしよう	9月中旬 ・運動会の練習をお互いがんばろう	

### 3 その他

詳しい関わり方は、適宜連絡、打ち合わせを行いながら有意義なものにしていく。

H29年度 幼小連携年間計画（案） 【小学校】

	目的	内容	方法
4月 中旬  下旬	・これからの連携がスムーズに行えるように、お互いのことを知ったり、知ろうとしたりする気持ちを高めたりする。	「青組さんと仲よくなるよう」 国語科：音読を青組さんに聞いてもらおう 生活科：一緒に遊ぼう 「一緒に育てよう」 生活科：夏野菜を育てる計画を立てよう	・国語科の音読の教材「かくれんぼ」の学習のはじめに抱いた「青組さんに聞かせたい」という思いを表出できる機会を設ける。（幼稚園に行く。） それをきっかけに、幼稚園で一緒に遊ぶ時間を設定し、今後も青組さんと一緒に遊んだり、活動したりしたいという気持ちを高めさせる時間となるようにする。 ・夏野菜を2年生になって育てるが、その際、幼稚園の友達とも一緒に育てたいという思いを高める。そこで、青組さんと一緒にどんな野菜を育てるのが相談する機会を設ける。
5月	・夏野菜の成長を伝えることで、青組さんとのつながりを意識できるようにする。	「野菜さんの様子を報告しよう」 生活科：観察記録を配達しよう1 （生活科：小学校の遊具で遊ぼう）	・夏野菜の観察を行い、野菜の生長の様子を青組さんに分かりやすく伝えるために、絵やことばを用いて、伝えられるようにする。（表現物にして） 1回目 ・青組さんが小学校に夏野菜の成長を見たり水やりに来たりした際、一緒に遊具を用いて遊ぶ時間を設定する。
6月	・一緒に育てている夏野菜を大事に思う気持ちを高める。さらに、収穫後どんな活動をしたいか活動を創り出していけるようにする。	「野菜さんのお世話をしよう」 生活科：野菜さんの喜ぶことをしよう 生活科：観察記録を配達しよう2 学級活動：野菜パーティーの計画を立てよう 「生活物とよかよくなるよう」(2E)	・成長記録を基に、今後の成長を予測して、支柱を立てたり、敵から守る工夫を考えたりするようにする。 ・夏野菜の様子や世話のしかた等、絵やことばで伝えられるようにする。（表現物にして） 2回目 ・一緒に育てた野菜を喜ぶ会として、青組さんと収穫の喜びを味わえる会を計画する。
7月	・野菜の成長を喜び、これまでの活動を振り返ったり、今後の活動を創り出したりできるようにする。	「野菜パーティーをしよう」 国語科：招待状を書こう 生活科：収穫しよう 学級活動：パーティーを成功させよう	・青組さんに野菜パーティーに来てもらえるように招待状を書いたり、お世話になった方に感謝の気持ちを伝えたりする。（副校長先生、提案者、保護者の中の野菜作りの名人さん、お助けママーズさん等） ・自分たちの手で収穫した野菜を用いて簡単な調理をして、青組さんやお世話になった方をもてなしたり、喜んでもらえるような運営を行ったりできるようにする。

	目的	内容	方法
9月 下旬  10月	・一緒に活動できる計画を立てたり、青組さんの役に立てることを考えたりする。	「冬野菜（おでんパーティーで使う）大根を植えよう」 生活科：観察記録を配達しよう1	・大根の観察を行い、青組さんに分かりやすく伝えるために、絵やことばを用いて、伝えられるようにする。（表現物にして） 1回目
11月	・育てている大根の様子を伝えたり、校内外で見つけた秋を幼稚園の友達に紹介したりしたいという意識を高め、活動する。	「大根さんの様子を伝えよう」 生活科：観察記録を配達しよう2 図画工作科：大根の絵を書こう 「角山豊山で秋見つけ」 「見つけた秋を紹介しよう」	・大根の観察を行い、青組さんに分かりやすく伝えるために、絵やことばを用いて、伝えられるようにする。（表現物にして） 2回目 ・幼稚園の友達と一緒に秋を探したり、見つけたりする。 ・小学校の秋の様子を伝えたり、秋の植物で作品を作って紹介したりする。
12月	・野菜の生長を喜び、これまでの活動を振り返ったり、今後の活動を創り出したりできるようにする。	「大根さんをプレゼントしよう」 学級活動：大根パーティーをしよう	・収穫できた大根を青組さんにプレゼントしたり、自分たちの手で簡単な調理をしたりする。（副校長先生、提案者、保護者の中の野菜作りの名人さん、お助けママーズさん等）
1月	・来年度小学校に入ってくる青組さんが小学校を楽しみに思えるように自分たちができることを考え、計画を立てたり、活動したりする。 （スタートカリキュラムを見聞えて）	「附属小学校のひみつを青組さんに紹介しよう」 生活科：ほくたちの学校を紹介しよう 道徳科：学校の生活を楽しく （わたしたちの道徳） 「小学校において」 国語科：お手紙を書こう （入試の時期に合わせて）	・小学校の秘密を青組さんに紹介できるように調べたり、インタビュー（1年生）を行ったりする。 ・2月の小学校体験の際、生活、施設、学習等について幼稚園と小学校を比べながら紹介できるように準備を行う。 ・自分たちの学校のよいところやお世話になっている人に気付き、感謝と敬愛の気持ちを高めたり、改めて小学校への愛情を深めたりする学習を道徳の時間に行う。 ・小学校の様子を知ってもらえるように、青組さんを招待するカードや手紙を作成し、小学校探検に安心して来てもらえるようにする。
2月	・小学校で学んだことを実際に見せることで、できるようになったことが増えたことに気付き、成長を感じることができるようになる。(2/7・8・9)	「給食の時間を見せてあげよう」 学級活動：給食を紹介しよう 「小学校の秘密を紹介しよう」 生活科：学校探検隊になろう！	・小学校探検の前に、給食の配膳のしかたを実際に見せる時間を設定する。また、昼休みも一緒に遊具や体育館、教室で過ごす機会を設ける。 ・小学校探検の時間に1時間ミニ学校探検の時間を設定し、そこで2年生が青組さんと一緒に学校探検を行うようにする。
3月	・一年間の自分の関わりを振り返り、自分の成長に気付けるようにする。	「なかよしプレゼントをしよう」 生活科：一年間の関わりを振り返ろう	・青組さんの入学を喜び、小学校に早く来てもらいたいという気持ちを表現物に表し自分たちの気持ちやこれまでの感謝を届けられるようにする。

## 第2学年 教科をつなぐ年間カリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週に育てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週に夏野菜を植えよう</li> <li>夏野菜の特徴をしよう①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏野菜の報告をしよう②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜パーティーをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬野菜の計画を立てよう(前期開始)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生にうさぎのお世話を任せよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋、まつけ！</li> <li>秋の情を使っておもちゃを作ろう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生におもちやまつりに招待しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大根さんぞしぞししよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属小学校のひみつを青組さんへ紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の種を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生を呼び寄ろう</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校探検の準備をしよう</li> <li>1週に育てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アサガオさんをつなげよう</li> <li>自分の野菜を育てよう(種木鉢)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物とつながろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の育て方をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うさぎの世話(前期)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うさぎの世話について調べた本を作ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生に「小学校に詳しい100招待状を書こう」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生に「小学校に詳しい100招待状を書こう」</li> </ul>				
音楽科			<ul style="list-style-type: none"> <li>「野菜のシンナーの歌」を作ろう</li> </ul>										
図工科	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の生き物を作ろう(ペタ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アサガオの種袋を作ろう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜パーティーの招待状を書こう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>大根の絵を描こう(展覧会)</li> </ul>				
道徳		<ul style="list-style-type: none"> <li>【生活実習】</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>【愛校心】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【感謝】</li> </ul>			
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おおい大作戦」(1年生・青組)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「野菜パーティーの計画を立てよう」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生にうさぎのお世話を任せに行こう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>「給食の時間をありがとう」を歌おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回大かららいっくでータイムをしよう</li> </ul>	
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>春の遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール直前の前に生き物を探賞しよう</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会交流ダンス</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>附属園の小学校体験</li> </ul>	

## Question 4

### 年間を通じて年長児との交流を行うメリットは？

1学期には、青組さんと一緒に野菜を育て、野菜パーティーをしました。どんな野菜を育てるか、幼稚園に行き、相談する機会を設けました。それにより、一緒に野菜パーティーをするために、「自分と同じように青組さんも、野菜が大きくなることを楽しみにしている。」と、野菜をたくさん、上手に育てようという思いや願いを子ども一人一人がもって、取り組むことができました。



【相談して決める】



【食べた感想を尋ねる】

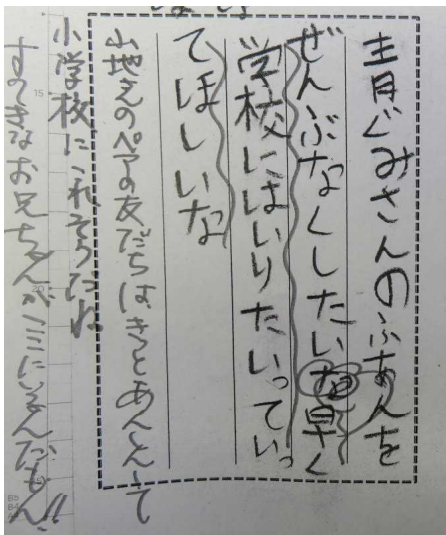
小学校の学級園で野菜を育てる中で、葉が増えたり、実ができた【相談して決める】りする等の観察して気付いたことやうれしかったことを、ペアの青組さんに伝えようという意識に自然となっていました。

2学期には、小学校の秋の様子や秋を集めて作った作品について伝える活動をしました。校内では、たくさんの秋を見つけられます。また、ドングリや落ち葉等を集め、いろいろな素敵な作品が作ることができます。それらのことを、来年入学する



【校内の秋を紹介】

青組さんに伝えると、きっとまねしたくなったり、自分で見つけてみたくなくなったりするという意識で、学習を進めていくことができました。



【道徳『学校めぐり』の学習】

3学期には、子どもたちは、附坂小の秘密を紹介する準備を進めています。そこで、道徳の時間で『学校めぐり』（香道研なかよし）の学習をしました。授業終末の振り返りでは、資料に登場する幼稚園の友達を青組さんと重ねて、考えられている子どもの姿がありました。それにより、青組さんに対する思いや願いを自ら深めたり、広げたりすることにつながり、青組さんとの関

わり方を考えていく手がかりを増やすことができました。

## Answer 4

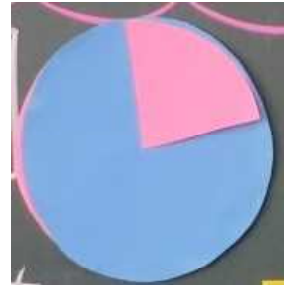
ペアの青組さんを自ら意識し、目的を明確にして活動に取り組めるようになります。

## 2 本時に至る学びの足あと

### 第1時間目 「附坂小わくわくタイム」の共通理解と、幼稚園と小学校との違いの整理

本時の導入時，青組さんが入学に向けて，幼稚園で準備や練習していることを子どもたちに伝えました。教師から，「『青組さんは，入学する前，どんな気持ちなのかな。みんなが入学する前はどようだった。』」と問いかけ，まず，自分たちの幼稚園のころを振り返りました。「友達や先生がどんな人か，ドキドキしていました。」「給食はおいしいか，とても楽しみでした。」等，友達との交流により，入学への不安や期待の気持ちが自分にもあったことを確認していきました。

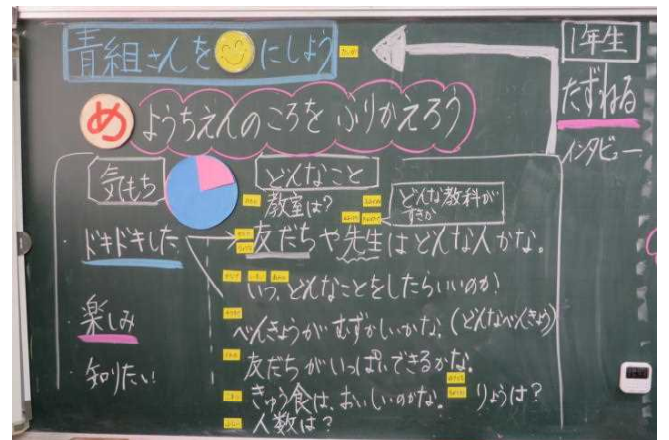
その際，心情円盤を用いて，不安と期待の度合いも表出させるようにしました。例えば，給食のことについて，不安と期待が同じくらいだった友達，不安の方が大きかった友達，期待の方が大きかった友達と，さまざまでした。それにより，同じ事柄であっても，その度合いは友達によって異なることが視覚的に捉えやすくなりました。



【心情円盤で表出】

その後，教師から『青組さんが，入学を楽しみに，わくわくできるものになるために，みんなの力を貸してくれるかな。』と尋ね，青組さんが体験入学する機会に行うことを共通理解し，「附坂小わくわくタイム」と設定しました。

自分が幼稚園だったころの振り返りから，不安や期待を感じていることは，幼稚園にはなくて，小学校にはあるものだと気付きます。その気付きから，教師は，『幼稚園と違うことに，わくわくやドキドキするんだね。みんなの力でわくわくは多く，ドキドキを少なくできるといいね。』と，幼稚園との違い（附坂小の秘密）を伝えていくとよいことを確認しました。



〔板書記録〕

「青組さんを，わくわくにしよう」という目的意識が明確になると，青組さんは，どんなことへの不安や期待があるのか，それは自分と同じかどうか等，子どもたちは確かめたいくなります。そこで，まず，なかよしペアの1年生に，朝の活動の時間を使って，インタビューしてみることにしました。

### ○学習意欲への働きかけ

「附坂小の秘密一覧表」…自分たちが幼稚園児だったころを振り返り，幼稚園との違いを伝えることを確認した後，例として幼稚園の【リズム室】と小学



【リズム室】



【体育館】

校の【体育館】の写真を並べて提示しました。そうすることで、名前の他に、広さや使い方、そこにある物の種類や数等の視点が表出し、紹介する内容をより詳しく伝える視点に気付かせることができました。

### 朝の活動の時間 1年生に入学前の気持ちをインタビューする

なかよしペアの1年生に、入学する前の気持ちとその理由を尋ねました。自分のことと比べながら1年生に尋ねた結果を聞き、他の幼稚園との違いに出合える子どももいました。

「紹介できそうな幼稚園の違いは、他にもありそう。」

「幼稚園は、どうなっていたんだろう。」

これにより、青組さんへのインタビューだけでなく、幼稚園と小学校の違いも調べようという意識が強くなりました。



【1年生にインタビュー】

### 単元外 学級活動1時間 青組さんへのインタビューと、幼稚園と小学校との違いの取材

なかよしペアの青組さんに、入学する今の気持ちとその理由をインタビューするため、幼稚園に行きました。その際、表情を表したイラストを見せ、「わくわく」か「ドキドキ」かを青組さんに選択してもらってから、その理由を答えてもらうようにしました。

インタビュー後、子どもたちはペアの青組さんとさよならをしてから、園舎内を生活班のグループで取材しました。

小学校との違いを探しては、タブレットやデジカメを使って自由に撮影していました。撮影したものは、紹介をする際に使うことができます。子どもたちが主に撮影したものには、教室、遊具、使っている道具、飼育している生き物がありました。

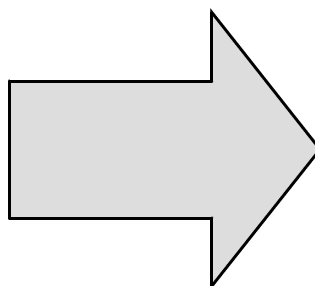
小学校に戻ると、次は幼稚園との違いを中心に自分たちで取材をしました。



【青組さんにインタビュー】



【小学校との違いを取材】



【幼稚園との違いを取材】

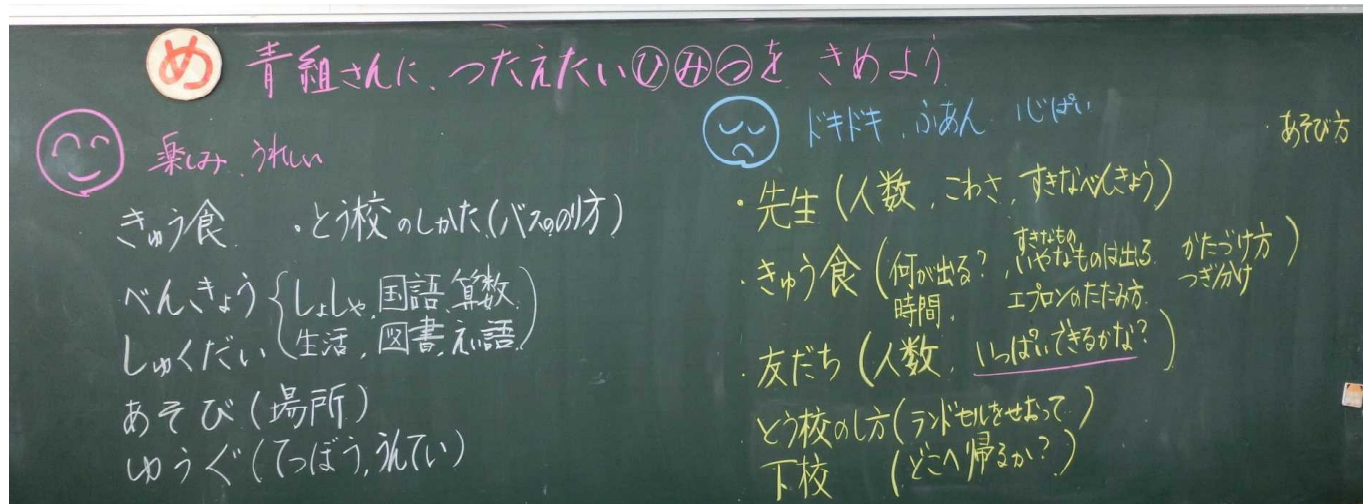
### 第2時間目 青組さんに伝える秘密を決める

青組さんにインタビューできたことから、どんなことに青組さんが、「わくわく」「ド



キドキ」しているかを知った子どもたち。どんなことかについて、学級全体で交流しました。交流する中で、青組さんも自分たちや1年生と同じように、入学への期待や不安があることを確認しました。そして、どんなことを青組さんに伝えたいか、ワークシートに書きました。1つの事柄について、伝えたいという子どももいれば、複数の事柄について伝えたいと思っている子どももいました。

〔板書記録〕





教師は複数の事柄について伝えたいと思っている子どもたちには、「1番目に伝えたい秘密を伝えましょう。」と、1番目の紹介の準備ができれば、次の紹介ができることを伝えておきました。

そして、教師は紹介する秘密を整理した附坂小の秘密一覧表を指しながら、1番目に紹介する観点(秘密)を選択することを子どもたちに促しました。

選択した観点が同じ者どうしでグループ(計8グループ)を作りました。そして、選んだ理由を交流する場を設け、グループで紹介する内容について話し合いました。各グループの話し合いには、教師も入って一緒に話し合っていました。教師は、8グループを回りながら、紹介する内容を調整したり、時間内に話し合いができるように司会をしたりして行きました。

○学習意欲への働きかけ

「附坂小の秘密一覧表」…取材してきたことを基に、観点別に事柄を整理しました。例えば、場所という紹介する観点内に、体育館や運動場等を紹介する内容があります。子どもたちが、いつでも比較して見られるよう、

ようちえん	ゆうぐ		小学校
	ブランコ	ブランコ	
	すべり台	×	
	×	うんてい	
木の小屋	竹うま	竹うま	あみあみ

【附坂小の秘密一覧表：遊具編】

左半分を幼稚園、右半分を小学校として配列し、掲示しておきました。そうすることで、

紹介する秘密を選択したり考えたりする際に、「青組さんにいろいろな秘密が、紹介できそうだ」という子どもができました。

「短冊フォルダー」…フォルダー内側には、常に青組さんが意識できるよう、ペアの写真と3色の短冊状の付箋、グループ内で頑張っていた友達について記録できる星があります。付箋は、分かったこと（赤色）、できたこと（青色）、次にしたいこと（黄色）と、書く内容によって色分けしています。振り返りの際、自分が書きやすい色の付箋から書くようにすることで、付箋の数が増えていくことを期待したり、自ら次への課題設定ができたりする姿が見られました。

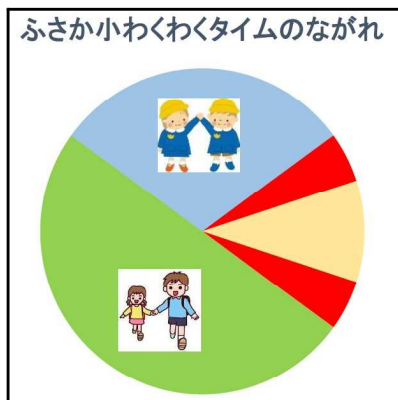


【短冊フォルダー】

### 第3時間目 青組さんに秘密を伝える準備をする①（伝え方・必要な物の作成）

グループごとに紹介する秘密が決まったので、「附坂小わくわくタイム」で、青組さんにどんなふうに伝えるかについて、話し合いました。伝え方については、これまでの経験を想起しながら、子どもたちから次々と意見が出されました。出された伝え方の中から、どの伝え方にするかをグループで相談し、選択するようにしました。

グループの伝え方が決まった後、当日の紹介について、子どもたちと共通理解しました。



【当日の流れを確認】

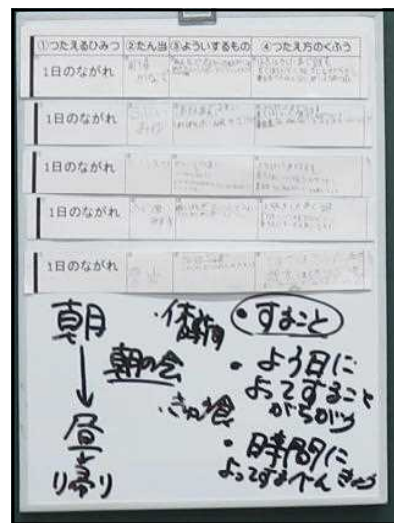
青組さんみんなをわくわくにするため、グループの秘密の紹介を2回できること、グループ1回の紹介の時間を2分間にすること、ペアの青組さんには必ず紹介できることを子どもたちに伝えました。時間の設定については、青組さんのことを考えて設定されたものと、子どもたちと共通理解しました。

その後、伝え方や伝える時に用意するもの、自分の役割等をボード（わくわくボード）を使って相談しました。

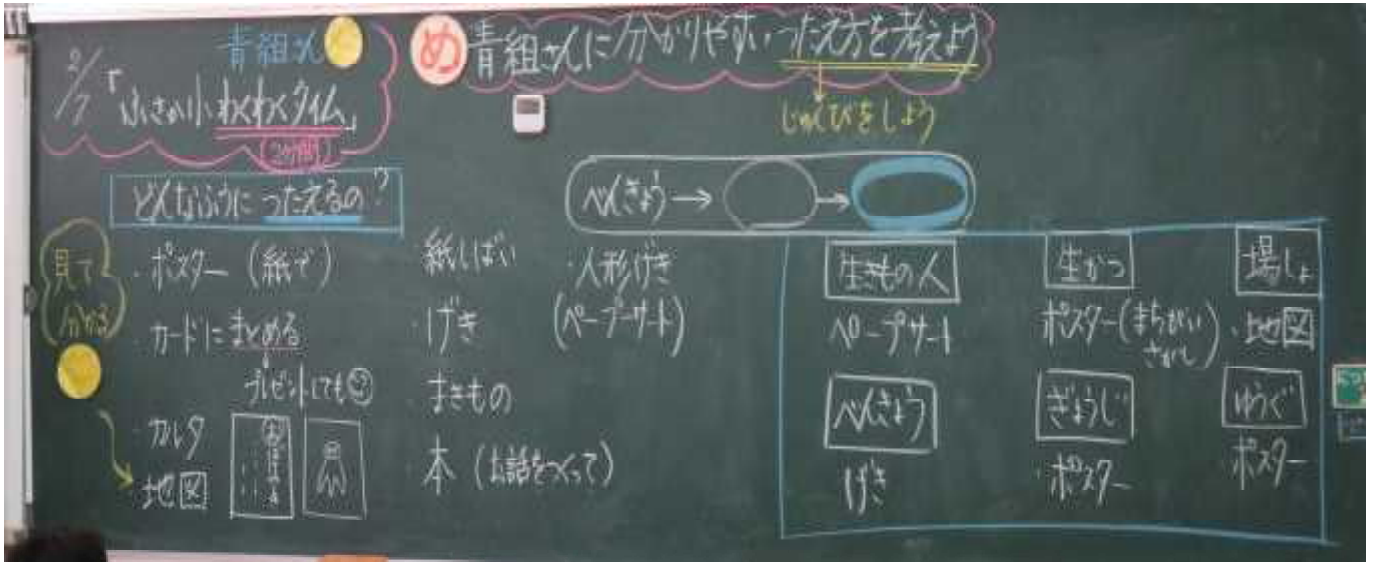
しかし、相談ができて、準備がすすまないグループができました。原因は、紹介する具体的な内容が決まっていなかったためでした。

そこで、まず、設定時間内で何を伝えるかを教師もグループに入って一緒に考え、決まったことを教師がボードに書いていきました。

そして、見通しがもてたグループから、紹介に必要なポスターや地図等の製作に取りかかるようにしました。設定時間をうまく使い、青組さんにもっと「わくわく」の気持ちになってもらおうという子どもたちの願いを確認し、準備をすすめていきました。



【わくわくボード】



○学習意欲への働きかけ

「キラキラ紹介シート」…紹介の方法ごとに1枚のシートにして準備しました。シートを見ると、紹介の手順と分かりやすくできるポイントを確認できるようになっています。子どもたちがグループで伝え方の相談をする前に、教師から提示してシートの内容や使い方を説明しました。そして、『伝え方を考えたり、準備したりする時に、必要な人は取りにきましよう。』と、子どもたちに拡大版を提示しながら伝え、個人用シート(縮小版)を設置していることも合わせて伝えました。そうしたところ、グループで紹介の準備をする際に、紹介の手順を確認しながら役割を決めたり、練習の時には、紹介を分かりやすくするポイントをチェックしながら練習をしたりする姿が見られました。

 紙しばい

- ◎やり方
- ① つたえる場めんを きめる。
  - ② どう場するものを きめる。
  - ③ 紙しばいのまい数を きめる。
  - ④ 場めんの絵とせりふを 考える。
  - ⑤ れんしゅうする。

☆ 分かりやすくなるポイント	チェックらん
・ 1人1人に、きまつたやくわりがある。	◎ ○ △
・ どんな場めんか、青組さん(見ている人)がすぐわかる。	◎ ○ △
・ 絵とせりふがあつている。	◎ ○ △
・ 青組さん(見ている人)が、見やすいところで、できている。	◎ ○ △

【キラキラ紹介シート】

「わくわくボード」…まず、秘密を紹介するグループのメンバーの誰が何を伝え、何を用意するのか、そして、どんな伝え方の工夫をするかについて、各自で記入したシートをボード上で合わせ、グループでの相談がスムーズにすすむようにしました。紹介内容の具体をこれから考えていく段階での伝え方の工夫まで記入できていない子どもがいました。伝え方の工夫を考えられている子どもを意図的に取り上げたり、例を挙げながら今までの経験とつないだりすることで、自分の紹介にも取り入れようとする子どもが増えてきました。



【わくわくボードを使って相談】

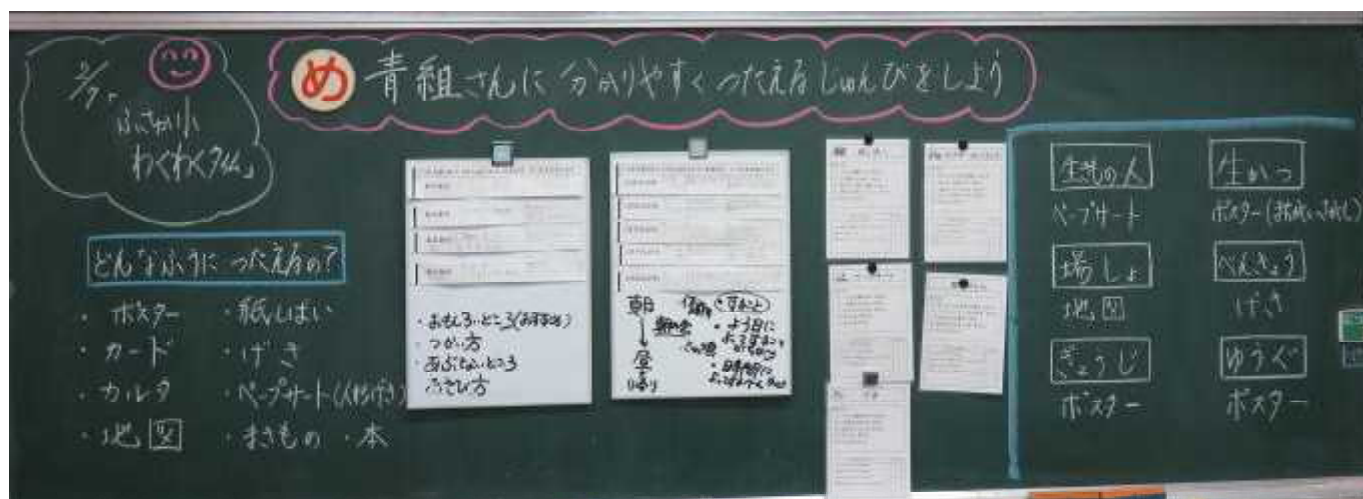
「短冊フォルダー」…グループで紹介の準備や練習の中で、頑張っている友達を見つけ、称賛しながら机間指導するようにしました。そうすることで、友達の頑張りを自分から具体的に伝えられる子どもが増えてきました。

#### 第4時間目 青組さんに秘密を伝える準備をする②（練習・修正）

まず、教師は紹介に使うものの製作ができているかを確認しました。まだの人がいるグループについては、今の時間、できているものとして練習をすることを伝えました。その際、グループ内で1人青組さん役となる聞き手を決め、グループの紹介を聞いた後、感想やアドバイスを伝えるようにしました。紹介の時間は、自分たちでタイマーを使い、時間内にできているかを後で確認していました。また、キラキラ紹介シートで紹介が分かりやすくなっているかを確認して練習する子どももいました。

そして、青組さんがわくわくする紹介になるよう、修正してから練習を繰り返し行える時間を設けました。

（板書記録）



○学習意欲への働きかけ

「附坂小の秘密一覧表」…教室内に常に掲示しておくようにしました。他の秘密も紹介したいという子どもが出てきました。

「わくわくボード」…いつでも、紹介する内容や伝え方の工夫等を確認したり、修正したりできるように、グループに持たせておきました。

「短冊フォルダー」…表出した内容について、教師が称賛のコメントを記入していきました。そうすることで、次への課題意識を高めたり、持続させたりすることができました。

## 第5時間目 幼稚園に行き、小学校体験入学の招待状を渡す

幼稚園に行き、ペアの青組さんに「附坂小わくわくタイム」の招待状を渡しました。この招待状は、「青組さんに招待状も渡したい」という子どもたちの思いから、単元外の時間で作成することにしたものです。

招待状を作成する時には、短冊フォルダーにあるペアの青組さんの写真を見ながら、似顔絵を描いたり、青組さんに分かるような言葉を使ったりする姿が見られました。ま



【ペアの青組さんに招待状を渡す】

た、自主的に招待状と合わせて、折り紙でプレゼントを用意する子どももいました。

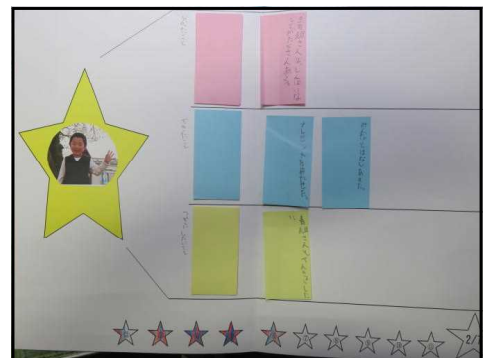
招待状を渡す際には、青組さんにきちんと伝わったかを必ず確認することを、子どもたちと確認しておきました。子どもたちは、招待状に書いたことをペアの青組さんに読んで伝えたり、見せながら伝えたりする関わり方をしていました。



【招待状を見せ合う青組さん】

○学習意欲への働きかけ

「短冊フォルダー」…招待状を渡して幼稚園から帰ってきた子どもたちは、青組さんがうれしそうにしている様子が見られたことを確認し、振り返りをしました。子どもたちの黄色の短冊状の付箋（次にしてみたいこと）には、「青組さんに小学校の秘密を紹介したい」「いっしょに、遊びたい」等が表出しました。教師は、付箋に表出した内容について、称賛のコメントを記入していきました。そうすることで、次の課題意識を高めたり、持続させたりすることができました。



【短冊フォルダー】

## 第6時間目 小学校の秘密の伝え方を工夫する①

表出した次にしたいことの中から「青組さんに小学校の秘密を紹介したい」を取り上げました。同じような思いをもった子どもが複数いることを確認した後、教師が『青組さんに、分かりやすく伝える準備はできましたか』と問いかけました。すると、2、3名の子どもが挙手しましたが、多くの子どもは、「もっと、練習したり準備したりしたい」と、答えました。



【伝え方の工夫を考える】

そこで、分かりやすい伝え方を全体で子どもたちと確認した後、これからの準備の手順

を共通理解しました。まずは、グループで準備や練習をした後、なかよしグループ（2グループずつ決定）で、お互いの紹介を見ます。そして、青組さん役（聞き手）の人に、感想やアドバイス等を必ず尋ねた後、交代します。このような準備の手順と合わせて、紹介を行う場所も確認しました。



【紹介の様子を撮影】

グループごとに練習や準備を行い、なかよしグループに自分たちの紹介をしました。その際、聞き手となるグループにタブレットで、自分たちの紹介の様子を撮影してもらったようにしました。

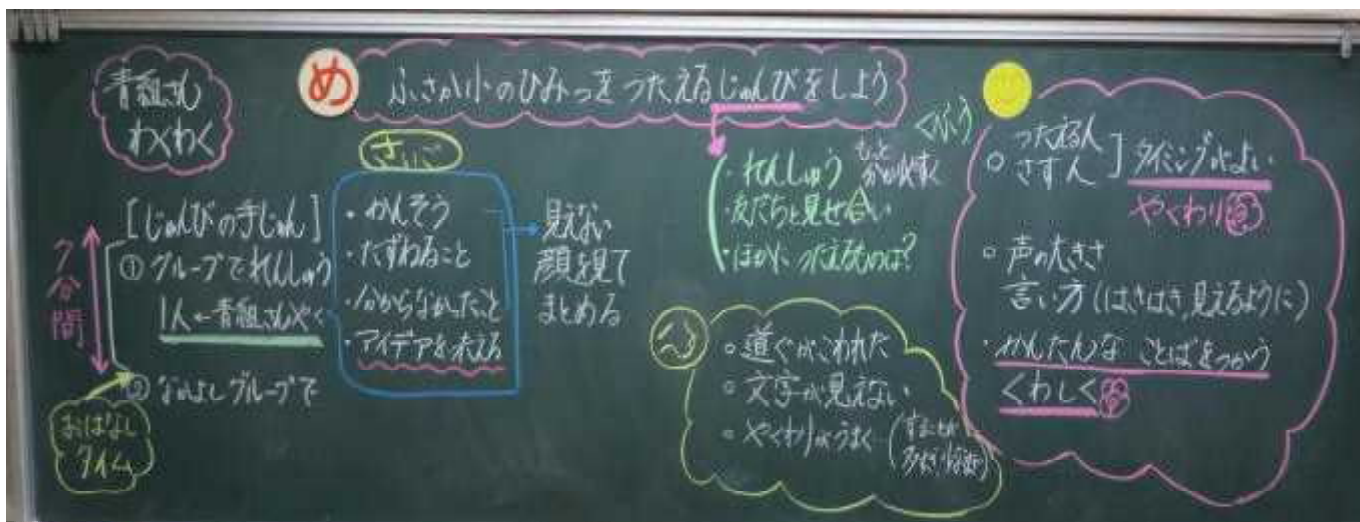
お互いの紹介を聞き合った後、わくわくになる・ならない伝え方について、全体で交流する場を設けました。子どもたちから出てきたそれらの伝え方を工夫すれば「もっと、わくわくになる紹介ができる」と、これからの準備に見通しがもてたようでした。

その後、グループで自分たちの紹介の様子を動画で確認し、工夫できるところを話し合い、修正していきました。そして、自分たちの紹介が、わくわくになる紹介かどうかを1年生に青組さん役になってもらって聞いてもらおうと、次時の課題を共有しました。



【動画で確認する】

## 板書記録



### 第7時間目 小学校の秘密の伝え方を工夫する②（1年生に聞いてもらう）

1年生に青組さん役になってもらい、自分たちの紹介を見てもらい、感想を聞きました。紹介は、前半に紹介する4グループと後半に紹介する4グループに分けておきます。わく

わくボードを見ると，確認できるようにしておきました。そして，1回目の紹介は，自分のペアの1年生に聞いてもらうようにし，2回目の紹介は聞きにきた1年生に聞いてもらうことを，紹介をする前に確認しました。



【1年生に伝える】

前半のグループが1年生に紹介している間，なかよしグループの2年生は，紹介を見る1年生の様子を見たり，自分たちも聞き手となったりして，最後に感想やアドバイス等をなかよしグループの2年生に伝えます。なかよしグループとは，あらかじめ決めておいた協力し合える2つのグループのことです。

前時，自分たちの紹介を見直す時間で，うまく伝え方を工夫していたグループとまだ工夫できそうなグループがありました。秘密の内容の紹介に入る前に「〇〇のしょうかいをします。」と言ってから紹介を始めることや紹介が終わると2年生は1年生に「今の紹介を聞いて，小学校がわくわくになりましたか」と尋ねることを確認しました。

紹介後には，「よく分かったよ」「おもしろくて小学校が楽しみになったよ」という1年生からうれしい感想が聞かれる一方，紹介を見ている途中で他のグループの紹介が気になって，そちらの方を見ようとしたり，よそ見をしたりする1年生の姿もありました。

また，2回目の紹介時に，1年生が1人も聞きに来なかったグループがありました。2回目の紹介を選んだ理由を1年生に尋ねると，「伝え方がおもしろそう。」「本物のメダカが見られたり，クイズができたりして，楽しそう。」等の感想が聞かれました。逆に「何が見られるのかが分からなかった。」等の感想も聞かれました。



【次時への課題を設定する】

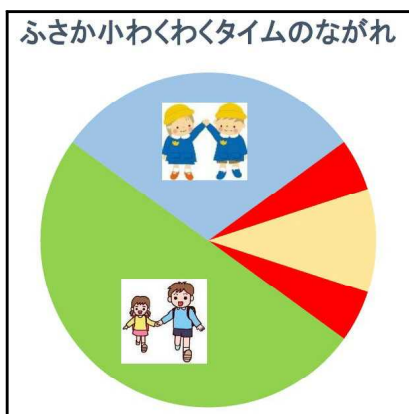
3 本時の板書計画



【正面板書】



【附坂小の秘密一覧表ときらきら紹介シート】



【当日の日程表】

後 ゆうぐ			
①つたえあひつ			
あみあみ ●つかい方 ●あぶないところ			
①つたえあひつ	②たん当	③よういするもの	④つたえ方のくふう
あみあみ よむひと	つく ゆき	紙	つたえ方にはなを (はぎはぎ)
あみあみ もつ(あひつ)	木 田 田中	いって(あひつ)	きあひつ(あひつ) あぶない あぶない(あひつ)に あぶない(あひつ)に
あみあみ こずん (あひつ)	あひつ あひつ	あひつ あひつ	あひつ(あひつ) あひつ(あひつ)
あみあみ もつ(あひつ)	あひつ あひつ	あひつ あひつ	あひつ(あひつ) あひつ(あひつ)

【わくわくボード】



【参考文献】

- ・文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』, 大日本図書, 2008年
- ・文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』, 2017年
- ・田村学編著『新学習指導要領の展開 生活編』, 明治図書, 2017年
- ・三浦光哉編著, 『5歳アプローチカリキュラムと小1スタートカリキュラム～小1プロブレムを予防する保幼小の接続カリキュラム～』, ジアース教育新社, 2017年